

税の無駄遣い、2108億円

20年度検査院 コロナ対策費検証

会計検査院は五百、官庁や政府出資法人を調べた（一）

○一〇年度決算検査報告を

一言地域の検査ができず、指

摘件数は比較可能な一九九

四年度以降で最少。法令違

反や不適切な予算執行に当

たる「不当事項」は百五十

七件、六十六億三千三百

万円だった。

「コロナ関連は一九一〇

年度の七百七十事業を主に

分析。予算額六十五兆四千

百六十五億円のうち支出さ

れたのは65・0%に当たる

四十一兆五千六百一億円

で、二年度への繰越額は

二十一兆七千七百九十六億

円、使途がない状態になつ

ていい不用額は一兆七百六

十三億円だった。

「アベノマスク」と呼ば

れた全世帯向けなど、布製

マスクは今年三月時点ですべて

八千二百七十一万枚（約百

十五億一千万円相当）が倉

庫で保管され、保管費は昨

年八月～今年三月で約六億

円に上った。

雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金の抽出調査では、不正受給や過払いが計

約十三億円に上る）ことが判明。持続化給付金でも不正受給が計約五億九千万円あ

つた。

持続化給付金事業では、再委託率が九割を超えた

実態を改めて調査。最大で

九次請けと再委託が繰り返

され、検査院は必要性や合

理性の検証を求めた。

事業の不適切な契約状況に懸念を示し、報告で「適切な実施に努め、國民に広く情報提供をしてほしい」と述べた。（関連②面）

検査院は新型コロナ関連

事業の再委託など、ずさんな

契約や管理の実態を指摘し

た。

大半の会場が無観客とな

った東京五輪・パラリンピ

ックの收支は赤字が避けら

れない見通しだが、主な経

費の検証は今後の検査報告

である」とになりそうだ。

新型コロナで緊急事態宣

言地域の検査ができず、指

摘件数は比較可能な一九九

四年度以降で最少。法令違

反や不適切な予算執行に当

たる「不当事項」は百五十

七件、六十六億三千三百

万円だった。

「コロナ関連は一九一〇

年度の七百七十事業を主に

分析。予算額六十五兆四千

百六十五億円のうち支出さ

れたのは65・0%に当たる

四十一兆五千六百一億円

で、二年度への繰越額は

二十一兆七千七百九十六億

円、使途がない状態になつ

ていい不用額は一兆七百六

十三億円だった。

「アベノマスク」と呼ば

れた全世帯向けなど、布製

マスクは今年三月時点ですべて

八千二百七十一万枚（約百

十五億一千万円相当）が倉

庫で保管され、保管費は昨

年八月～今年三月で約六億

円に上った。

雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金の抽出調査では、不正受給や過払いが計

約十三億円に上る）ことが判明。持続化給付金でも不正受給が計約五億九千万円あ

つた。

持続化給付金事業では、再委託率が九割を超えた

実態を改めて調査。最大で

九次請けと再委託が繰り返

され、検査院は必要性や合

理性の検証を求めた。

事業の不適切な契約状況に懸念を示し、報告で「適切な実施に努め、國民に広く情報提供をしてほしい」と述べた。（関連②面）

検査院は新型コロナ関連

事業の再委託など、ずさんな

契約や管理の実態を指摘し

た。

大半の会場が無観客とな

った東京五輪・パラリンピ

ックの收支は赤字が避けら

れない見通しだが、主な経

費の検証は今後の検査報告

である」となりそうだ。

新型コロナで緊急事態宣

言地域の検査ができず、指

摘件数は比較可能な一九九

四年度以降で最少。法令違

反や不適切な予算執行に当

たる「不当事項」は百五十

七件、六十六億三千三百

万円だった。

「コロナ関連は一九一〇

年度の七百七十事業を主に

分析。予算額六十五兆四千

百六十五億円のうち支出さ

れたのは65・0%に当たる

四十一兆五千六百一億円

で、二年度への繰越額は

二十一兆七千七百九十六億

円、使途がない状態になつ

ていい不用額は一兆七百六

十三億円だった。

「アベノマスク」と呼ば

れた全世帯向けなど、布製

マスクは今年三月時点ですべて

八千二百七十一万枚（約百

十五億一千万円相当）が倉

庫で保管され、保管費は昨

年八月～今年三月で約六億

円に上った。

雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金の抽出調査では、不正受給や過払いが計

約十三億円に上る）ことが判明。持続化給付金でも不正受給が計約五億九千万円あ

つた。

持続化給付金事業では、再委託率が九割を超えた

実態を改めて調査。最大で

九次請けと再委託が繰り返

され、検査院は必要性や合

理性の検証を求めた。

事業の不適切な契約状況に懸念を示し、報告で「適切な実施に努め、國民に広く情報提供をしてほしい」と述べた。（関連②面）

検査院は新型コロナ関連

事業の再委託など、ずさんな

契約や管理の実態を指摘し

た。

大半の会場が無観客とな

った東京五輪・パラリンピ

ックの收支は赤字が避けら

れない見通しだが、主な経

費の検証は今後の検査報告

である」となりそうだ。

新型コロナで緊急事態宣

言地域の検査ができず、指

摘件数は比較可能な一九九

四年度以降で最少。法令違

反や不適切な予算執行に当

たる「不当事項」は百五十

七件、六十六億三千三百

万円だった。

「コロナ関連は一九一〇

年度の七百七十事業を主に

分析。予算額六十五兆四千

百六十五億円のうち支出さ

れたのは65・0%に当たる

四十一兆五千六百一億円

で、二年度への繰越額は

二十一兆七千七百九十六億

円、使途がない状態になつ

ていい不用額は一兆七百六

十三億円だった。

「アベノマスク」と呼ば

れた全世帯向けなど、布製

マスクは今年三月時点ですべて

八千二百七十一万枚（約百

十五億一千万円相当）が倉

庫で保管され、保管費は昨

年八月～今年三月で約六億

円に上った。

雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金の抽出調査では、不正受給や過払いが計

約十三億円に上る）ことが判明。持続化給付金でも不正受給が計約五億九千万円あ

つた。

持続化給付金事業では、再委託率が九割を超えた

実態を改めて調査。最大で

九次請けと再委託が繰り返

され、検査院は必要性や合

理性の検証を求めた。

事業の不適切な契約状況に懸念を示し、報告で「適切な実施に努め、國民に広く情報提供をしてほしい」と述べた。（関連②面）

検査院は新型コロナ関連

事業の再委託など、ずさんな

契約や管理の実態を指摘し

た。

大半の会場が無観客とな

った東京五輪・パラリンピ

ックの收支は赤字が避けら

れない見通しだが、主な経

費の検証は今後の検査報告

である」となりそうだ。

新型コロナで緊急事態宣

言地域の検査ができず、指

摘件数は比較可能な一九九

四年度以降で最少。法令違

反や不適切な予算執行に当

たる「不当事項」は百五十

七件、六十六億三千三百

万円だった。

「コロナ関連は一九一〇

年度の七百七十事業を主に

分析。予算額六十五兆四千

百六十五億円のうち支出さ

れたのは65・0%に当たる

四十一兆五千六百一億円

で、二年度への繰越額は

二十一兆七千七百九十六億

円、使途がない状態になつ

ていい不用額は一兆七百六

十三億円だった。

「アベノマスク」と呼ば

れた全世帯向けなど、布製

マスクは今年三月時点ですべて

八千二百七十一万枚（約百

十五億一千万円相当）が倉

庫で保管され、保管費は昨

年八月～今年三月で約六億

円に上った。

雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金の抽出調査では、不正受給や過払いが計

約十三億円に上る）ことが判明。持続化給付金でも不正受給が計約五億九千万円あ

つた。

持続化給付金事業では、再委託率が九割を超えた

実態を改めて調査。最大で

九次請けと再委託が繰り返

され、検査院は必要性や合

理性の検証を求めた。

事業の不適切な契約状況に懸念を示し、報告で「適切な実施に努め、國民に広く情報提供をしてほしい」と述べた。（関連②面）

検査院は新型コロナ関連

事業の再委託など、ずさんな

契約や管理の実態を指摘し

た。

大半の会場が無観客とな

った東京五輪・パラリンピ

ックの收支は赤字が避けら

れない見通しだが、主な経

費の検証は今後の検査報告

である」となりそうだ。

新型コロナで緊急事態宣

言地域の検査ができず、指

摘件数は比較可能な一九九

四年度以降で最少。法令違

反や不適切な予算執行に当

たる「不当事項」は百五十

七件、六十六億三千三百

万円だった。

「コロナ関連は一九一〇

年度の七百七十事業を主に

分析。予算額六十五兆四千

百六十五億円のうち支出さ

れたのは65・0%に当たる